



【鈴木 茂 プロフィール】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校PTA会長。
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。
- 【現在】
- ・上尾市議会議員（無所属） 総務常任委員会・上尾政策フォーラム所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・(社)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長
- ・上尾市幼児教育振興協議会委員

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
 TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
 浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は。上尾市議会議員 鈴木 茂です。2月25日から3月20日まで平成27年度の予算等を審議する上尾市議会定例3月議会が開かれていましたのでその主な内容をご報告させていただきます。

◎ 会計別予算規模 (予算の一千万円以下は切り捨て、数字は概数)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	
一般会計	606億5千万	577億7千万	28億8千万	5.0%	
特別会計	国民健康保険会計	273億3千万	244億9千万	28億4千万	11.6%
	公共下水道事業会計	51億3千万	48億3千万	3億	6.2%
	介護保険会計	128億	120億7千万	7億2千万	6.0%
	後期高齢者医療会計	22億7千万	21億9千万	8千万	3.7%
	小計	475億4千万	435億9千万	39億4千万	9.1%
企業会計	水道事業会計	66億1千万	66億6千万	△4千万	△0.7%
合計	1千148億	1千80億2千万	67億8千万	6.3%	

- ★ 一般会計の予算規模は606億5千万となり過去最大です。
- ★ 国の補正予算の活用に伴い平成26年度に前倒した事業費を含めた実質的な予算規模は615億9千万円です。
- ★ 特別会計も増えています。国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療等が増えているためです。
- ★ そのため合計では特別会計は前年度比39億4千万円の増です。

◎ 一般会計予算状況

【1】歳入（主なもの、数字は概数）

(単位：円)

款別	平成27年度		平成26年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
市 税	300億4千万	49.5%	302億6千万	52.4%	△2億2千万	△0.7%
地方譲与税	4億	0.7%	4億2千万	0.7%	△1千万	△2.9%
地方消費税交付金	26億	4.3%	20億	3.5%	5億9千万	29.7%
地方交付税	25億5千万	4.2%	25億8千万	4.5%	△3千万	△1.5%
国庫支出金	88億4千万	14.6%	85億3千万	14.8%	3億1千万	3.6%
県支出金	38億8千万	6.4%	35億2千万	6.1%	3億5千万	10.1%
繰入金	30億9千万	5.1%	21億4千万	3.7%	9億4千万	43.9%
諸収入	13億	2.1%	12億1千万	2.1%	8千万	7.0%
市 債	53億9千万	8.9%	46億3千万	8.0%	7億5千万	16.3%
うち土地開発公社健全化債	4億1千万	0.7%	5億9千万	1.0%	△1億7千万	△29.8%
合計	606億5千万	100%	577億7千万	100%	28億8千万	5.0%

- ★ 歳入の49.5パーセントを占める、市税は約2億2千万円(前年度比0.7%)の減です。税制改正に伴う法人市民税の税率引き下げ等による減です。
- ★ 平成26年4月からの消費税率の引上げに伴い、半年遅れで交付される地方消費税交付金の増6億円です。
- ★ 上尾中学校校舎改築事業の本格化に伴う市債の増7億6千万円。
- ★ 財源不足に対応するため基金繰入金の増9億4千万円。

【2】歳出（数字は概数）

(単位：円)

目的別	平成27年度		平成26年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
議会費	4億9千万	0.8%	4億5千万	0.8%	3千万	7.7%
総務費	67億6千万	11.2%	65億4千万	11.3%	2億1千万	3.3%
民生費	275億4千万	45.4%	267億1千万	46.2%	8億3千万	3.1%
衛生費	50億3千万	8.3%	48億3千万	8.4%	2億	4.3%
商工費	4億5千万	0.7%	4億9千万	0.9%	△4千万	△8.3%
土木費	51億8千万	8.5%	42億8千万	7.4%	9億円	21.1%
消防費	26億3千万	4.4%	29億8千万	5.2%	△3億5千万	△11.7%
教育費	57億3千万	9.5%	45億6千万	7.9%	11億6千万	25.5%
公債費	65億5千万	10.8%	66億3千万	11.5%	△8千万	△1.3%
予備費	8千万	0.1%	8千万	0.1%	0	-
合計	606億5千万	100%	577億7千万	100.0%	28億8千万	5%

- ★ 原市保育所複合施設建設及び民間保育所等への負担金の増加による民生費の増8億円
- ★ 境橋及び吉野橋の整備による土木費の増9億円
- ★ 消防救急無線のデジタル化の完了による消防費の減3億5千万円
- ★ 上尾中学校校舎改築事業の本格化による教育費の増11億7千万円

★Ⅰ 私が一般質問で取り上げた事が予算化され実現に動き出しました。

①生活保護世帯等の生徒に学習支援実施872万円

平成26年度末で埼玉県は生活保護世帯への学習支援（アサポート）事業を撤退しました。私はこの事業の必要性を再三一般質問で取り上げ、日本教育新聞にも掲載されました。この度その必要性が認められ上尾市の単独事業（国からの補助1/2）で東西2ヶ所での学習支援教室が実施される事になりました。

②全ての小学校の特別支援学級設置が完了します。

私は学級支援員の増員と特別支援学級を増やすよう一般質問で要望して参りました。今年度6校を整備し100%整備となります。予算4,520万円。

③大石北学童保育所を整備

私は議会においての学童の問題について取り上げてきましたが大石北学童木造2階建・延床290㎡が整備されます。9,800万円です。

★Ⅱ 埼玉県議選では、大変お世話になりました。



4月13日当選報告会。清水候補と共に勝利を祝してダルマの目入れ。

4月12日投開票の埼玉県議選で私が、選対本部長を勤めた清水義憲候補が見事当選を果たしました。

開票結果

1 はたけやま稔	民主党	18,260	当
2 いしわたり豊	公明党	16,224	当
3 清水よしのり	自民党	13,618	当
4 新藤 たか子	共産党	10,330	
5 斉藤 てつお	無所属	7,207	
6 秋山 かほる	無所属	5,164	



県議選雑感

今回の県議選はいわゆる保守分裂の選挙でし烈な選挙でした。清水候補を正式に応援した市議会議員は私一人で、別の候補者には13名の市議会議員が付きましました。私への誹謗中傷ビラが全市的に配られました。立候補者への中傷ビラが配られる事はたまにはありますが、選対本部長への中傷ビラが配られるのは前代未聞です。

その中傷ビラの内容のひとつに私が島村市政への批判的な質問をしているとの事が書かれていました。幼稚園・老人ホームを営んでいる個人的理由で私が教育の問題・子育ての問題・介護の問題・福祉の問題ばかりを取り上げて利益誘導をして

いると驚くべき内容の誹謗中傷ビラでした。

我が国の最大の課題は少子高齢化の問題で上尾市においてもこの問題は避けて通れない問題です。この問題を迫及したり提案したりする事が利益誘導との批判が初めは私には理解できませんでした。しかし仮にこのビラを作成した者が道路や下水道等の質問をしながら私財への利益誘導をしていたとしたら、その価値観と視野の下このような文書が成立するのだろうかとうやく理解推理しました。また、中傷ビラでは私が共産党が提出した意見書に賛成したと批判していました。私が賛成した意見書は辺野古の基地建設反対の意見書と自衛隊の海外派兵増強に反対の意見書です。私は辺野古の米軍基地建設に反対です。これ以上沖縄に負担を掛けるべきではないと考えます。サンゴ礁を壊す事に反対です。米軍基地が必要ならアメリカに作れば良いと考えます。ハワイやグアムに作るべきと考えます。翁長沖縄県知事も元沖縄県自民党幹事長です。また、私は戦後日本が70年間誰一人として戦争で死ななかつた、殺さなかつたこの平和をもっともっと誇りに思うべきと考えます。

自衛隊が我が国を防衛する事や災害に対応する事に何ら不満はありません。しかし海外で武力行使する事に反対ですしその事に繋がる危険性が増える事に反対です。一方介護保険料の値上げや消費税増税の反対の意見書には賛成しませんでした。少子高齢化社会の現実から議論の余地があると考えます。〇〇党からの意見書は反対、〇〇党からの意見書は全て賛成というような単純な立場での行動はとりたくありません。市民の信託を受けた議員ならひとまず自分の頭で考え賛否を決めるべきだと考えます。

私が市議会に入って一番不思議に感じたのは、議会なのに全く議論しないという事です。特にいわゆる保守系党派では市長への批判的意見はタブーなようです。これでは何のために市議会議員がいるのか存在意義が問われます。行政と議会はチェック&バランスが大切だと考えます。ただ市の提案を賛成するために立ったり座ったりするだけであるなら、民意を受けて当選した市議会議員の仕事は必要ありません。

今回の選挙の出陣式の第一声で私は次のような事を述べさせて頂きました。「今回の選挙は上尾市で自由で民主的な政治が行われるのか否かの選択の選挙であり、上尾市民の民度が問われる選挙なのです」と。他陣営には、13名の市議会議員・上尾市長・国会議員が付きましましたが結果はご案内の通りです。上尾市民の民度の高さに改めて敬意を表し感謝を申し上げます。また、県道や信号機設置等は県議会議員の仕事であり、清水議員を通じて県政にも尽力をしていきたいと思ひます。

市政に関しては、私、鈴木茂が市民の皆様の為に精一杯尽力させて頂きます。ご支援を頂いた多くの方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

★Ⅲ西貝塚ごみ処理をめぐる不正入札告発の手紙が殆どの議員に届きました。

西貝塚のごみ焼却施設は3年間約5億円で業務委託されています。この3月に委託契約が切れ、市は一般競争入札でA社と業務委託契約を結びました。そこに不正があったのではとの告発があり、2人の議員がこの問題を迫及したところ、市は慌てて委託契約を解除しました。前代未聞の行為であり、新聞にも掲載されました。この入札には政治的圧力があつたとの指摘があります。市は入札のやり直しをしましたが年度末で入札業者が現れず現在の業者との随意契約となりました。最初に委託契約を結んだA社は派遣の実績しかなかったようで、とても上尾市23万人のゴミ処理を任せられる業者ではなかつたようです。私はこのような事がとり行われている上尾市政に対して声をあげていきたいと思ひています。